

11月16日～30日の国内外外国為替市場動向

	為替市況	主要経済指標など	主要発言など	為替レート		
				ドル円	ユーロ円	24H
08/11/17 (月)	東京は大荒れ、G20への失望から早朝は円買い優勢。しかしGDPの悪化などを材料に流れ急反転。欧米も荒れ模様。米経済指標の悪化やシェリの人削減計画が嫌気されたが株価は小高くドルは下げ渋り。	・前週末実施のG20で目新しいニュース出ず ・第3四半期GDP速報値 0.1% ・11月NY製造業景気指数 25.43、10月の米鉱工業生産1.3%、同設備稼働率76.4%	・GMCEO「自動車業界が破綻すれば米経済に壊滅的な打撃」 ・HH「TARP活用した自動車メーカー支援は想定せず」 ・独連銀総裁「ECBは追加利下げの可能性」	ドル円 96.25 97.56 96.01 96.45	ユーロ円 120.56 123.91 120.20 122.00	24H 寄付 安値 高値 終値
08/11/18 (火)	東京は豪追加利下げ観測から豪ドルが急落。ドル/円はドルが小高く推移した。欧米は米財務長官らによる議会証言を受けた株高から当初はドル高。ただ上値も重い。	・9月の景気動向指数100.9 ・RBA議事録「景気支援のため一段の大幅利下げが必要と判断」 ・10月の米PPIは 2.8%、9月の対米証券投資662億ドル、11月のNAHB住宅価格指数9	・米財務長官「自動車メーカーの破綻望まないが金融安定化法を使うべきでない」 ・ECB総裁「ECBは追加利下げを除外していない」	ドル円 96.39 97.42 96.03 97.00	ユーロ円 121.87 123.59 121.00 122.40	24H 寄付 安値 高値 終値
08/11/19 (水)	東京は米要人発言などを受けた米自動車メーカー救済策をめぐる迷走を嫌気し円買い優勢。欧米は発表される米経済指標がごとごとく悪くドルの売り材料。またNYダウが400ドル以上したことも嫌気。	・11月BOE議事録で追加利下げを示唆 ・10月米CPIは 1.0%、同住宅着件数79.1万戸、同建設許可70.8万 ・FOMC議事録「経済に必要な措置をとることで合意」	・ペロシ米下院議長「政府支援がなければ米自動車メーカーは今後2ヵ月を乗り切れない」 ・ドット上院銀行委員長「自動車業界救済法案が週内に可決するのは難しい」	ドル円 96.75 97.10 95.66 95.70	ユーロ円 122.24 124.30 119.50 119.53	24H 寄付 安値 高値 終値
08/11/20 (木)	東京は日本の貿易赤字転落が嫌気され円売り先行。ただ日本やアジアで株安が進行し、その後は円高へ。欧米は米レセッション深刻化や米自動車メーカー救済に対する否定的な見方からドル売り優勢に。	・10月貿易収支 639.19億円 ・SNBが政策金利を1.0%引き下げ ・11月のFF連銀指数 39.3、10月の米景気先行指数 0.8%	・デーブBOEエコノミスト「BOEは必要ならさらに利下げする」 ・米上院議会筋「自動車救済策、超党派で合意」 ・ペロシ、リード「議会を通過し大統領署名を受けられる案の提出はない」	ドル円 96.02 96.25 93.55 93.70	ユーロ円 120.05 121.20 116.45 116.69	24H 寄付 安値 高値 終値
08/11/21 (金)	東京は日銀やシェリ、FEDに関する各種報道や噂を好感した動きから円は独歩安の状況に。欧米はガイナ-氏が次期財務長官指名とのニュースが好感され、ご祝儀的なドル買い優勢の日で休場となった。	・日銀会合で全員一致の金利据え置き決定、ただ流動性供給検討も ・シェリGに合併模索報道 ・FEDが緊急会議の噂 ・11月の月例経済報告で基調判断が2ヵ月の連続下方修正	・独連銀総裁「必要ならさらに金融緩和実施の余地あり」 ・ECB総裁「12月理事会での利下げの可能性は排除せず」 ・オルマティ側近「ガイナ-NY連銀総裁を次期財務長官に指名へ」	ドル円 94.07 95.99 93.83 95.95	ユーロ円 117.00 120.82 116.80 120.80	24H 寄付 安値 高値 終値
08/11/24 (月)	東京勤労感謝の日で休場となったアジアはシェリ絡みの噂や報道で右往左往。薄商いのなか荒れ値動き。欧米は先週末同様にオルマ氏による閣僚人事や景気対策に対する期待からドル買い優勢。	・11月の独IFO景気動向指数85.8 ・10月の米中古住宅販売498万戸 ・オルマ政権の景気対策は最大で7000億ドルに達するとの噂あり	・WSJ紙「米政府がシェリGの資産3000億ドルを保証、200億ドルの追加注入へ」 ・オルマ次期大統領「サマーズ元財務長官を国家経済会議委員長に」	ドル円 95.97 97.35 94.94 97.33	ユーロ円 121.33 126.09 119.55 126.09	24H 寄付 安値 高値 終値
08/11/25 (火)	東京は当夜に予定されているオルマ新大統領の就任式を前にした調整の動きなどから円買い進行。欧米はGDPなど発表される米経済指標が悪くドルは続落。FDICによる発表などもドルの足かせとなった。	・第3四半期独GDP確定値 0.5% ・第3四半期米GDP改定値 0.5%、同個人消費改定値 3.7%、同コアPCE改定値2.6%、9月ケースラー指数 17.4%、同11月消費者信頼感 44.9、同リッチモンド指数 38	・WSJ紙「米財務長官、クレジットカードなどの利用促す対策発表へ」 ・FDIC「第3四半期に問題のある銀行数は171行、95年以来で最高」 ・FDIC総裁「銀行破綻はさらに起こると予想」	ドル円 96.88 96.94 94.94 95.23	ユーロ円 125.12 125.91 122.65 124.41	24H 寄付 安値 高値 終値
08/11/26 (水)	東京はFRBの発表からドル高でスタート。しかし日経平均が伸び悩みマイナス圏に転落したことでドル売り進む。欧米は連日の弱い米経済指標が嫌気されドル続落。しかし調整的なカバーから終盤に反発へ。	・第3四半期英GDP改定値 0.5% ・10月の米耐久財受注 6.2%、同個人所得0.3%、同消費 1.0%、同新築住宅販売43.3万戸、11月のシカゴPMIIは33.8、同ミシガン大消費者信頼感指数55.3	・FRBが証券化商品の買取策発表 ・中国人民銀行が1年物貸出金利を1.08%引き下げ、5.58%に ・EUが総額2000億ユーロの経済対策を加盟国に提案	ドル円 95.45 95.95 94.60 95.65	ユーロ円 124.37 124.40 121.93 123.23	24H 寄付 安値 高値 終値
08/11/27 (木)	東京はNY休場もあり売買手控えモード。そうしたなか日米金利差の縮小観測などからやや円買い優勢。欧米はNY休場で商い開散。新規材料難ということもあり、主要通貨はレンジ内での一進一退に。	・印ムンバイで列車爆発などのテロ起こる、外為・債券市場が休場 ・11月独失業率7.5%、失業者 1万人	・10月の日銀会合議事録で0.25%の利下げ提案は須田、中村、亀崎委員だったことが明らかに ・独財務相「ユーロ/ドルの下落は数ヵ月以内に終わる」	ドル円 95.63 95.72 94.99 95.25	ユーロ円 123.31 123.65 122.45 122.92	24H 寄付 安値 高値 終値
08/11/28 (金)	東京は月末仲値不足観測などがドル買い先行。しかし上値も重く上げ渋り。経済指標は材料視されず。欧米はユーロなどクロスを中心とした相場展開。ECB追加利下げ観測からユーロ売り優勢。	・10月完全失業率3.7%、同消費者物価指数1.7%、同鉱工業生産 3.1% ・露ルーブルに切り下げ観測 ・10月のユーロ失業率7.7% ・露中銀がリファイナンス金利を12%から13%へ引き上げとの報道あり	・クウェート石油相「当面OPECは生産枠変更を行わない」	ドル円 95.45 95.75 95.14 95.50	ユーロ円 123.06 123.45 120.50 121.23	24H 寄付 安値 高値 終値

* 製作・著作；「FXニュースレター」

URL； <http://www.fx-newsletter.com/>